

「防災・減災×サステナブル大賞」  
防災・減災×レジリエンス賞 カンパニー部門 グローバル賞を受賞

アルギン酸メーカーのキミカ（本社：東京都中央区、代表取締役社長：笠原文善）は、一般社団法人減災サステナブル技術協会が主催する「防災・減災×サステナブル大賞」において、「防災・減災×レジリエンス賞 カンパニー部門 グローバル賞」を受賞しました。



本賞は、同協会がより安全・安心で真にサステナブルな社会の実現に向けた防災・減災の取り組みを評価して授与する表彰制度です。

株式会社キミカは、海藻由来の天然多糖類「アルギン酸」のオンリーワンメーカーとして安定供給の責務を果たすため、1980年代に南米（チリ共和国）に進出し、現地の漁民とともに海藻資源保全とサプライチェーン強化に取り組んでまいりました。こうした長年に渡る取り組みがレジリエンス性、サステナブル性、SDGsへの寄与度の側面から総合的かつ客観的に評価され、今回の受賞に至りました。株式会社キミカは、より良い未来の実現を目指し、取り組みをより一層強化して参ります。

株式会社キミカについて

株式会社キミカは、海藻由来の天然多糖類「アルギン酸」の日本唯一のメーカーです。アルギン酸市場における国内シェアは90%を超え、高品質が求められる食品・医薬品向け分野では世界トップの生産量を誇ります。

近年はSDGsのフロントランナーとしても注目されており、2020年には日本のSDGsの最高賞「ジャパンSDGsアワード」の特別賞を受賞、2021年には環境大臣賞を2度受賞、2022年には英国王立財団が創設した世界で最も権威ある環境賞「アースショット賞」にノミネートされています。